あだちの里 法人ニュース

新春号 No.90

令和 6 年　1 月　吉日

社会福祉法人あだちの里

〒121-0813
東京都足立区竹の塚七丁目 19 番 7 号
TEL 03（5831）1721
FAX 03（5831）1720
HP：https://a-sato.or.jp/

第 90 号　ご案内

1P
新年のご挨拶
2P
Instagram について
3P
障がい福祉報酬改定 2024
4P
令和 5 年秋の叙勲・褒章受章者
SDGs の取り組み
あだちの里後援会について

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

日頃より、当法人の運営に温かいご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

新型コロナの感染者数がだいぶ落ち着いてきており、動向を注視しながら、平常時の活動に戻していきたいと思います。

さて、障がいのある方々の生活を豊かにする要素の大きなものの一つは、社会参加です。東京都が 5 年ごとに実施している、「障害者の生活実態」という大規模な調査の結果では、社会参加の妨げになっていることについて、街のバリアフリーに関することのほか、「まわりの人の障がい者に対する理解不足」「仲間がいない」という回答が、長年上位を占めています。毎年、12 月の障がい者週間にあわせて、足立区障がい者アート展が開催されています。近年では、「Web びじゅつかん」が同時開催され、より多くの方々にご覧いただけるようになっています。また、8 月の障がい者施設地域交流会でも、作品展示をしています。

一方、スポーツの分野では、「あだちスポーツコンシェルジュ」が設置されており、今年度から足立区パラスポーツ推進協議会が設置され、パラスポーツの推進に一層力を入れていただくことになっています。区内には障がい者のスポーツを支援していただいている団体も増えています。さまざまな分野で、まわりの理解を得ながら、楽しく社会参加できればと思いす。

ところで、2023 年のノーベル経済学賞は、クラウディア・ゴールディン氏が受賞されました。男女格差の主な要因は、子どもの誕生であると指摘しています。育児の責任を男性より女性が大きく担っており、先進国で共通の「チャイルドペナルティ」とよばれる現象です。このこととは別に、「マミートラック」ということも問題視されています。女性が育児から職場復帰しても、出世コースから外れてしまうということです。

家事・育児の男女格差の解消と、柔軟な働き方を可能にすることが重要だといわれています。産後パパ育休制度など、男性が育児に参加しやすいようにしていますが、男性の意識改革と実践へとつなげていきたいと思います。一方で、福祉現場での柔軟な働き方については、重い課題で、知恵が必要です。

本年もよろしくお願いいたします。

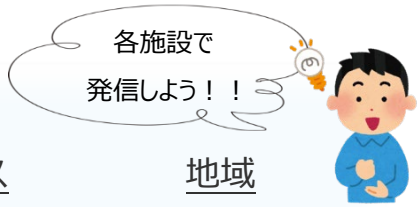
理事長　有賀　純三

Instagram について

現代では、SNS から情報を得る社会となりました。あだちの里でも 2021 年から「Instagram」や「X（旧 Twitter）」の運用を開始しました。

ターゲットは、学生・就活生！これから福祉分野で働きたい、福祉・障がい福祉に興味がある学生向けにあだちの里の職員紹介や日々の施設の活動の様子、採用イベント出展等を発信してきました。運用している中で発信頻度が少ないことやフォロワー数も伸び悩んでいるという課題がありました。また、あだちの里をもっと様々な方に知ってもらうために、施設からも色々な情報を発信したいというのもあり、さらに「Instagram」に力を入れ始めました！！

以前まではターゲットを学生・就活生だけに限定し、法人本部で運用を行っていましたが、ターゲット層を幅広く、様々な方にあだちの里を知っていただきたいという想いから各施設と協働して日々、更新を行っています。



2023 年

学生(就活生)

就職活動をしている学生に、あだちの里で実施している活動や取り組み等を知っていただくとともに、職員がご利用者とどのように関わっているか、研修等でスキルアップできるかを知っていただけるように発信をしています。

ご利用者・ご家族

事業所の活動や行事、自主生産品、研修等を知っていただけるように発信しています。ご利用者の笑顔もお届けしていますので、ぜひご覧ください♪

障がい福祉サービス利用希望者

あだちの里の事業所で行っている活動や行事、自主生産品等を通じて楽しそうな様子や活躍している様子を知っていただき、あだちの里でどんなことをしているのか進路の参考にしていただけるように発信しています。

地域

広く地域の方々に、あだちの里及び事業所で行っている活動や行事、研修、自主生産品等を通じて、あだちの里のことを知っていただけるように発信しています。また地域の方向けの研修のご案内をしています。

＃フォロー
＃いいね
＃お願いします！

＼Follow me／

Instagram

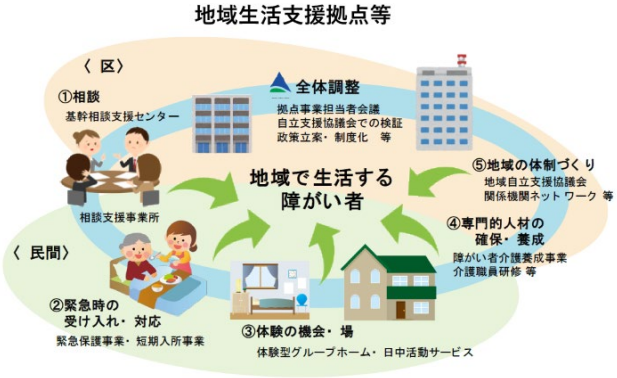
ADACHINOSATO

障がい福祉報酬改定２０２４

３年に１度、障害福祉サービスにおける報酬体系を見直すことを目的に報酬改定が実施されます。令和６年度がその年にあたり、本改定では医療・介護・障害のトリプル改定と言われ、大幅な改定が予定されています。障がい者の地域生活の促進、ニーズに対応した支援の展開、賃上げをはじめとする人材確保等への対応が重要な課題として示されています。報酬改定の基本的な方向性が示されましたので、その情報と当法人としての今後の想定をご紹介させて頂きます。

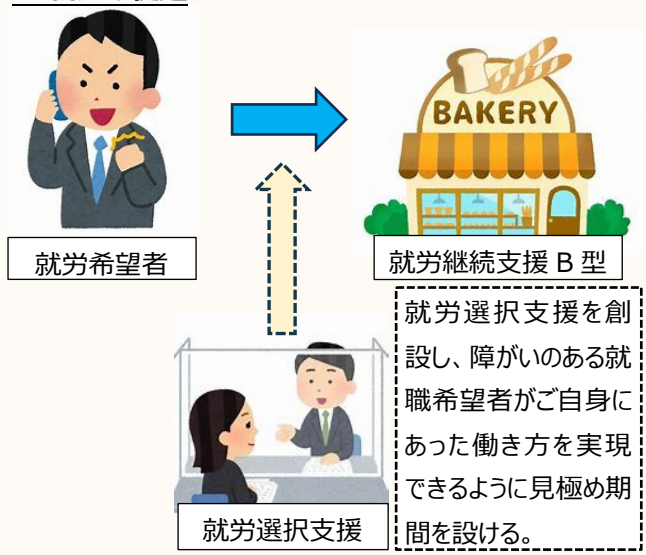
1　地域移行の促進

以前から目標として掲げられ、当初は障がいが軽度の方を中心に地域移行が進んだが、現在は重度化、高齢化が進んでいることで数値が伸び悩んでいる。さらに入所施設からの地域移行を促進するために、ご利用者の意向を確認すること、グループホームの見学等を行った場合に評価されるようになる。当法人でも重度化、高齢化が進んでおり、地域への移行の難しさ、また受け皿の確保等が課題となっている。



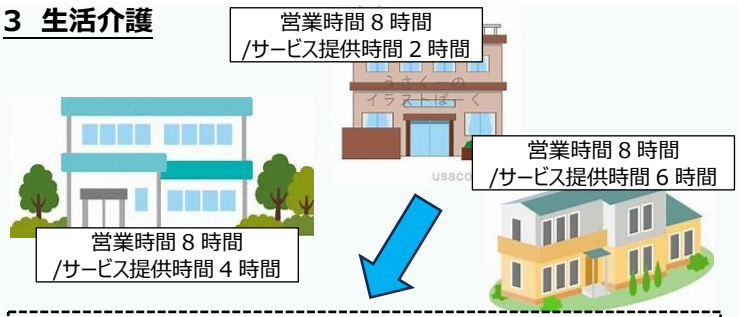
障がい者の重度化や高齢化、親亡き後に備えて地域生活を支えるための地域生活支援拠点の充実を図る。当法人としても足立区の地域生活支援拠点の面的機能として 3 つの役割を担っており、今後さらなる区との連携の強化が必要になっている。

2　就労の促進



就労選択支援を創設し、障がいのある就職希望者がご自身にあった働き方を実現できるように見極め期間を設ける。

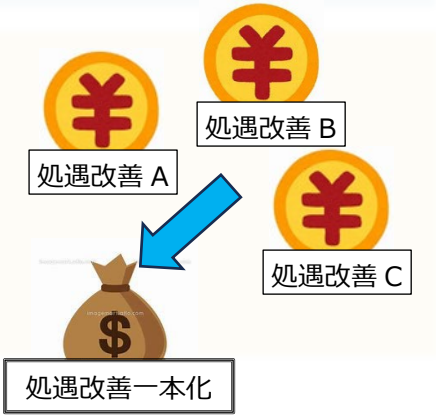
3　生活介護



現在、福祉業界は多くの団体が参入してきており、運営の仕方も様々である。これまで報酬額は営業時間によって決められていたため、ご利用者へのサービス提供時間が異なっていても同様の報酬設定であった。実態との差があるため、サービス提供時間に合わせて報酬額を決定する。また、より専門性の高い支援が行えるよう、専門職の配置に係る加算要件を見直すなど、重度のご利用者支援の質の向上が求められるようになる。

4　処遇改善

福祉はマンパワーが必要な業界であるが、人材不足が大きな課題となっている。その対策の一つとして、福祉・介護職員の収入を 2%程度(6,000 円相当)引き上げられるが、他業種と比較するとまだまだ安価な状況である。人材確保策として引き続き改善していくことが求められる。また、事務手続きが煩雑化しているため、手続きの簡略化が図られる。



5　あだちの里として

福祉業界は、株式会社や NPO など様々な団体が参入してきており、社会福祉法人も「経営」という視点は重要になってきています。ご利用者が安心してサービスが利用できる、職員が安心して働き続けられるためにも、報酬改定に合わせてしっかりと対策を講じていくことが必要です。令和 6 年度は当法人の第 3 期中期計画の策定の年になります。国や施策の動向を鑑みた上で、法人が目指すべき目標をしっかりと見定め、今後しっかりと対応してまいります。

令和５年秋の叙勲・褒章受章者

先日、令和５年秋の叙勲・褒章の受章者が発表されました。「叙勲」は、国または公共に対し功労のあった方へ、「褒章」は長年にわたり社会福祉、芸術、スポーツなどの分野で功績のあった方に授与されます。

あだちの里の理事であるお二方がそれぞれの章を受章されました。

ご受章おめでとうございます！！

★秋の叙勲★

～瑞宝双光章～

理事　峯岸　茂隆　様

★秋の褒章★

～藍綬褒章～

理事　浅香　孝子　様

SDGs の取り組み

先日の法人ニュース秋号でも少しふれましたが、電気(EV)自動車が納車されましたので改めてご紹介させていただきます。10 月にあだちの里の「法人本部」、11 月に「あだちの里地域生活支援センター」にも加わりました！初めての電気自動車だったためワクワクした気持ちで納車日を待っていました。実際に乗車してみると音が本当に静かで、バッテリー電池の減りが少ない印象を受けました。

電気自動車に乗ることで、二酸化炭素や大気汚染物質の排出が軽減されます。またエネルギーコストも安いというメリットがあります。車を走らせても街にエコ、あだちの里としてもエコな取り組みです。現在の電気自動車の車体形状は限られていますが、今後車を購入する際は電気自動車も視野にいれ、少しでもクリーンな街づくりに貢献したいと考えています。

あだちの里後援会について

あだちの里が運営する施設等の円滑な経営と充実並びに施設利用者の地域社会における社会参加と自立を促進するためにご支援いただいています。

３つの後援会

綾瀬後援会、竹の塚後援会、谷在家後援会の３つの後援会があります。

ご賛同お願いいたします

特別会員：１口　10,000 円　　一般会員：１口　　2,000 円

※ご賛同いただける場合は、右記の受付窓口までご連絡をお願いいたします。

【お問い合わせ】

綾瀬後援会　会長　大池　勝巳
受付窓口　綾瀬ひまわり園
連絡先　03（3629）3231

竹の塚後援会　会長　國井　幹雄
受付窓口　竹の塚ひまわり園
連絡先　03（5831）1721

谷在家後援会　会長　浅香　孝子
受付窓口　谷在家障がい福祉施設
連絡先　03（3853）0632

あだちの里のホームページに申込書を掲載しています！
皆様のご入会をお待ちしております！